

标点本

# 二十五史

北周北魏

齐

史书书书

中州古籍出版社

标点本

二十五史

北周北魏

齐

史书书书

中州古籍出版社

## 魏书目录

## 卷一 帝纪第一

序纪

成帝毛	1
圣武帝诘汾	1
始祖神元帝力微	1
文帝沙漠汗	1
章帝悉鹿	1
平帝绰	1
思帝弗	1
昭帝禄官	1
桓帝猗色	2
穆帝猗卢	2
平文帝郁律	2
惠帝贺傅	2
炆帝纥那	3
烈帝翳槐	3
昭成帝什翼犍	3

## 卷二 帝纪第二

太祖道武帝珽	4
--------	---

## 卷三 帝纪第三

太宗明元帝嗣	9
--------	---

## 卷四上 帝纪第四上

世祖太武帝焘	12
--------	----

## 卷四下 帝纪第四下

世祖太武帝焘	16
恭宗景穆帝晃	19

## 卷五 帝纪第五

高宗文成帝浚	19
--------	----

## 卷六 帝纪第六

显祖献文帝弘	22
--------	----

## 卷七上 帝纪第七上

高祖孝文帝宏	23
--------	----

## 卷七下 帝纪第七下

高祖孝文帝宏	28
--------	----

## 卷八 帝纪第八

世宗宣武帝恪	33
--------	----

## 卷九 帝纪第九

肃宗孝明帝诩	38
--------	----

## 卷十 帝纪第十

敬宗孝庄帝子攸	44
---------	----

## 卷十一 帝纪第十一

前废帝广陵王恭	47
后废帝安定王朗	48
出帝平阳王修	49

## 卷十二 帝纪第十二

孝静帝善见	51
-------	----

## 卷十三 列传第一

皇后

神元皇后竇氏	55
文帝皇后封氏	55
次妃兰氏	55
桓帝皇后祁氏	55
平文皇后王氏	55
昭成皇后慕容氏	55
献明皇后贺氏	55
道武皇后慕容氏	55
道武宣穆皇后刘氏	56
明元昭哀皇后姚氏	56
明元密皇后杜氏	56
太武皇后赫连氏	56
太武敬哀皇后贺氏	56
景穆恭皇后郁久闾氏	56
文成文明皇后冯氏	56
文成元皇后李氏	57
献文思皇后李氏	57
孝文贞皇后林氏	57
孝文废皇后冯氏	57
孝文幽皇后冯氏	57
孝文昭皇后高氏	58
宣武顺皇后于氏	58
宣武皇后高氏	58
宣武灵皇后胡氏	58
孝明皇后胡氏	59
孝静皇后高氏	59

## 卷十四 列传第二

神元平文诸帝子孙

上谷公纥罗	59
子襄城王题	59
建德公嬰文	59
真定侯陆	59
曾孙轨	59
武陵侯因	59
长乐王寿乐	59
望都公頊	59
曲阳侯素延	59
顺阳公郁	59

宜都王目辰 ..... 60  
 穆帝长子六修 ..... 60  
 吉阳男比干 ..... 60  
 江夏公吕 ..... 60  
 高凉王孤 ..... 60  
 六世孙华山王鸞 棖 ..... 60  
 棖子子华 子思 ..... 60  
 六世孙上党王天穆 ..... 61  
 西河公敦 ..... 61  
 司徒石 ..... 61  
 武卫将军谓 ..... 61  
 子乌真 ..... 62  
 乌真子兴都 ..... 62  
 兴都子东阳王丕 ..... 62  
 淮陵侯大头 ..... 63  
 河间公齐 ..... 63  
 孙志 ..... 63  
 扶风公处真 ..... 63  
 文安公泥 ..... 63  
 子屈 ..... 63  
 屈子磨浑 ..... 63

卷十五 列传第三

昭成子孙

实君 ..... 63  
 秦明王翰 ..... 64  
 子卫王仪 ..... 64  
 仪子中山王纂 干 ..... 64  
 阴平王烈 秦王毓 ..... 64  
 常山王遵 ..... 65  
 子素 ..... 65  
 素子可悉陵 ..... 65  
 可悉陵从子昭 ..... 65  
 昭子玄 ..... 65  
 昭弟绍 ..... 65  
 可悉陵弟忠 ..... 65  
 忠子寿兴 ..... 65  
 忠弟孙疑 ..... 65  
 忠从子晖 ..... 65  
 陈留王虔 ..... 66  
 毗陵王顺 ..... 66  
 辽西公意烈 ..... 67  
 窟咄 ..... 67

卷十六 列传第四

道武七王

清河王绍 ..... 67  
 阳平王熙 ..... 67  
 河南王曜 ..... 68

河间王修 ..... 69  
 长乐王处文 ..... 69  
 广平王连 ..... 69  
 京兆王黎 ..... 70

卷十七 列传第五

明元六王

乐平王丕 ..... 72  
 安定王弥 ..... 72  
 乐安王范 ..... 72  
 永昌王健 ..... 72  
 建宁王崇 ..... 72  
 新兴王俊 ..... 72

卷十八 列传第六

太武五王

晋王伏罗 ..... 72  
 东平王翰 ..... 72  
 临淮王谭 ..... 73  
 子提 ..... 73  
 提子昌 ..... 73  
 昌子璜 孝友 ..... 73  
 昌弟孚 ..... 74  
 广阳王建 ..... 75  
 子嘉 ..... 75  
 嘉子深 ..... 75  
 深子湛 瑾 ..... 76  
 南安王余 ..... 76

卷十九上 列传第七上

景穆十二王上

阳平王新成 ..... 76  
 子頔 衍 ..... 76  
 衍子融 ..... 77  
 衍弟欽 ..... 77  
 欽子子孝 ..... 77  
 京兆王子推 ..... 77  
 子太兴 ..... 77  
 太兴孙棕 ..... 77  
 太兴子仲景 暹 ..... 77  
 太兴弟遥 ..... 77  
 济阴王小新成 ..... 78  
 汝阴王天赐 ..... 78  
 乐浪王万寿 ..... 79  
 广平王洛侯 ..... 79  
 嗣子济南王匡 ..... 79

卷十九中 列传第七中

景穆十二王中

任城王云 ..... 80  
 子澄 ..... 80

澄子彝 顺 .....	85	北海王详 .....	100
澄弟嵩 .....	86	子颢 頊 .....	101
嵩子世俊 嵩弟贍 .....	86	<b>卷二十一 下 列传第九下</b>	
<b>卷十九下 列传第七下</b>		<b>献文六王下</b>	
<b>景穆十二王下</b>		彭城王懿 .....	102
南安王桢 .....	87	子劭 .....	105
子中山王英 .....	87	<b>卷二十二 列传第十</b>	
英子熙 .....	89	<b>孝文五王</b>	
熙弟东平王略 .....	90	废太子恂 .....	105
略弟纂 义兴 .....	90	京兆王愉 .....	106
英弟怡 .....	90	子宝炬 .....	106
怡子鲁郡王肃 东海王晔 .....	90	清河王怿 .....	106
城阳王长寿 .....	90	广平王怀 .....	107
子鸾 .....	90	汝南王悦 .....	107
鸾子徽 .....	91	<b>卷二十三 列传第十一</b>	
章武王太洛 .....	91	卫操 .....	107
嗣子彬 .....	91	卫雄 .....	108
彬子融 .....	91	姬澹 .....	108
融弟东安王凝 .....	92	莫含 .....	108
乐陵王胡儿 .....	92	孙题 云 .....	108
嗣子思誉 .....	92	刘库仁 弟眷 .....	108
安定王休 .....	92	子显 .....	109
子燮 愿平 贵平 .....	92	族人奴真 .....	109
<b>卷二十 列传第八</b>		奴真兄健 .....	109
<b>文成五王</b>		<b>卷二十四 列传第十二</b>	
安乐王长乐 .....	93	燕凤 .....	109
子谗 .....	93	许谦 .....	109
谗子鉴 斌之 .....	93	子洛阳 .....	109
广川王略 .....	93	张袞 .....	110
子谐 .....	93	孙诞 .....	110
齐郡王简 .....	93	袞子度 .....	110
子祐 .....	93	度曾孙白泽 .....	110
河间王若 .....	94	白泽子伦 .....	111
嗣子琛 .....	94	崔玄伯 .....	111
安丰王猛 .....	94	弟徽 .....	112
子延明 .....	94	族人宽 .....	112
<b>卷二十一上 列传第九上</b>		宽子衡 .....	112
<b>献文六王上</b>		衡子敞 钟 肱 .....	113
咸阳王禧 .....	94	崔模 .....	113
子翼 树 .....	96	高陵 .....	113
赵郡王干 .....	96	崔道固 .....	113
子濫 湛 潭 .....	96	道固兄子僧祐 僧渊 .....	114
广陵王羽 .....	97	僧渊子伯麟 伯凤 祖螭 祖虬 .....	114
子欣 .....	98	僧渊从弟和 .....	114
高阳王雍 .....	98	和子轨 .....	114
子端 睿 .....	100	董濬 濬父京 .....	114

邓渊.....	114	莫题.....	123
子颖.....	115	庾业延.....	123
颖孙述.....	115	贺狄干.....	123
颖子宗庆.....	115	李栗.....	124
颖从孙羨.....	115	刘浩.....	124
羨子跻.....	115	古弼.....	124
卷二十五 列传第十三		张黎.....	125
长孙嵩.....	115	卷二十九 列传第十七	
子颀.....	116	奚斤.....	125
颀子敦.....	116	子他观 孙买奴 从孙兜.....	126
长孙道生.....	116	叔孙建.....	127
孙观.....	116	子俊 郗.....	127
观子稚.....	116	卷三十 列传第十八	
稚子子彦.....	117	王建.....	128
卷二十六 列传第十四		安同.....	128
长孙肥.....	117	楼伏连.....	129
子翰.....	117	丘堆.....	130
陈兰.....	117	娥清.....	130
肥从孙真.....	118	刘尼.....	130
尉古真.....	118	奚眷.....	130
弟诺.....	118	车伊洛.....	130
诺子眷.....	118	宿石.....	131
眷子多侯.....	118	来大千.....	131
多侯从子庆宾.....	118	周几.....	131
眷弟地干.....	118	豆代田.....	131
古真族玄孙幸.....	119	周观.....	131
卷二十七 列传第十五		阆大肥.....	132
穆崇.....	119	尉拔.....	132
孙真.....	119	陆真.....	132
真子泰.....	119	目洛拔.....	132
崇子观.....	119	卷三十一 列传第十九	
观子寿.....	120	于栗磾.....	133
寿孙熹.....	120	子洛拔.....	133
熹子建.....	120	洛拔子烈.....	133
熹弟亮.....	120	烈子祚 忠.....	134
亮子绍.....	121	烈从子昕.....	135
寿弟多侯.....	122	烈弟果.....	135
观弟曾孙弼.....	122	卷三十二 列传第二十	
观弟頱.....	122	高湖.....	136
崇宗人丑善.....	122	子谧.....	136
丑善玄孙镇.....	122	谧子树生.....	136
镇子子琳.....	122	谧兄真.....	136
卷二十八 列传第十六		拔弟膾儿.....	136
和跋.....	123	膾儿子吞.....	136
奚牧.....	123	膾儿弟徽.....	136
		徽子归义.....	137
		湖弟恒.....	137

恒孙干	137	韩延之	160
崔暹	137	袁式	161
子頔	137	卷三十九 列传第二十七	
暹兄适	138	李宝	161
适玄孙隆宗	138	子承	161
封懿	138	承子韶	161
子玄之	138	卷四十 列传第二十八	
孙磨奴	138	陆俟	164
磨奴族子回	138	卷四十一 列传第二十九	
回子隆之 兴之	138	源贺	168
回兄琳	138	卷四十二 列传第三十	
懿从子恺	138	薛辩	172
恺从孙灵祐	138	寇赞	173
回族叔轨	139	酈范	173
轨子伟伯	139	韩秀	174
卷三十三 列传第二十一		尧暄	175
宋隐	139	吕舍	175
王宪	140	卷四十三 列传第三十一	
屈遵	140	严棱	175
张蒲	140	毛修之	175
谷浑	141	唐和	176
公孙表	141	刘休宾	176
张济	142	房法寿	177
李先	142	卷四十四 列传第三十二	
贾彝	143	罗结	180
薛提	144	伊穉	181
卷三十四 列传第二十二		乙瑰	181
王洛儿	144	和其奴	182
车路头	144	苟頵	182
卢鲁元	145	薛野臧	182
陈建	145	宇文福	183
万安国	145	费于	184
卷三十五 列传第二十三		孟威	184
崔浩	145	卷四十五 列传第三十三	
卷三十六 列传第二十四		韦闾	185
李顺	150	杜铨	187
子敷 式	151	裴骏	187
卷三十七 列传第二十五		辛绍先	188
司马休之	155	柳崇	189
司马楚之	155	卷四十六 列传第三十四	
司马景之	157	窦瑾	189
司马叔璠	157	许彦	190
司马天助	157	李沂	190
卷三十八 列传第二十六		卷四十七 列传第三十五	
刁雍	157	卢玄	191
王觳龙	159		

子度世 .....	192	高祐 .....	233
度世子渊 .....	192	崔挺 .....	234
<b>卷四十八 列传第三十六</b>		<b>卷五十八 列传第四十六</b>	
高允 .....	196	杨播 .....	236
孙绰 .....	201	子侃 .....	237
允弟推 .....	201	播弟椿 .....	238
<b>卷四十九 列传第三十七</b>		椿子昱 .....	239
李灵 .....	201	<b>卷五十九 列传第四十七</b>	
崔鉴 .....	203	刘昶 .....	242
<b>卷五十 列传第三十八</b>		萧宝夤 .....	243
尉元 .....	204	萧正表 .....	247
慕容白曜 .....	205	<b>卷六十 列传第四十八</b>	
<b>卷五十一 列传第三十九</b>		韩麒麟 .....	247
韩茂 .....	207	程骏 .....	250
皮豹子 .....	208	<b>卷六十一 列传第四十九</b>	
封敫文 .....	209	薛安都 .....	251
吕罗汉 .....	209	毕众敬 .....	253
孔伯恭 .....	210	沈文秀 .....	254
<b>卷五十二 列传第四十</b>		张说 .....	255
赵逸 .....	210	田益宗 .....	255
胡方回 .....	211	孟表 .....	256
胡叟 .....	211	<b>卷六十二 列传第五十</b>	
宋繇 .....	212	李彪 .....	257
张湛 .....	212	高道悦 .....	261
宗钦 .....	212	<b>卷六十三 列传第五十一</b>	
段承根 .....	213	王肃 .....	262
闾駟 .....	214	宋弁 .....	263
刘昺 .....	214	<b>卷六十四 列传第五十二</b>	
赵柔 .....	214	郭祚 .....	264
索敞 .....	214	张彝 .....	266
阴仲达 .....	214	<b>卷六十五 列传第五十三</b>	
<b>卷五十三 列传第四十一</b>		邢峦 .....	267
李孝伯 .....	215	子逊 .....	270
李冲 .....	218	李平 .....	271
<b>卷五十四 列传第四十二</b>		子奖 .....	272
游雅 .....	220	<b>卷六十六 列传第五十四</b>	
高闾 .....	220	李崇 .....	273
<b>卷五十五 列传第四十三</b>		崔亮 .....	276
游明根 .....	224	<b>卷六十七 列传第五十五</b>	
刘芳 .....	225	崔光 .....	278
<b>卷五十六 列传第四十四</b>		<b>卷六十八 列传第五十六</b>	
郑羲 .....	228	甄琛 .....	283
崔辩 .....	231	高聪 .....	285
<b>卷五十七 列传第四十五</b>		<b>卷六十九 列传第五十七</b>	
		崔休 .....	286
		裴延俊 .....	287

袁翻	288
<b>卷七十 列传第五十八</b>	
刘藻	291
傅永	291
傅竖眼	292
李神	293
<b>卷七十一 列传第五十九</b>	
裴叔业	294
夏侯道迁	297
李元护	298
席法友	298
王世弼	299
江悦之	299
淳于诞	299
李苗	300
<b>卷七十二 列传第六十</b>	
阳尼	301
贾思伯	303
李叔虎	304
路侍庆	304
房亮	305
曹世表	305
潘永基	306
朱元旭	306
<b>卷七十三 列传第六十一</b>	
奚康生	306
杨大眼	307
崔延伯	308
<b>卷七十四 列传第六十二</b>	
尔朱荣	309
<b>卷七十五 列传第六十三</b>	
尔朱兆	312
尔朱彦伯	313
尔朱度律	314
尔朱天光	315
<b>卷七十六 列传第六十四</b>	
卢同	316
张烈	317
<b>卷七十七 列传第六十五</b>	
宋翻	317
辛雄	318
羊深	320
杨机	321
高崇	321
<b>卷七十八 列传第六十六</b>	
孙绍	324
张普惠	325

**卷七十九 列传第六十七**

成淹	330
范绍	331
刘桃符	331
刘道斌	331
董绍	331
冯元兴	332
鹿念	332
张熠	333

**卷八十 列传第六十八**

朱瑞	333
叱列延庆	334
斛斯椿	334
贾显度	335
樊子鹤	335
贺拔胜	336
侯莫陈悦	337
侯渊	337

**卷八十一 列传第六十九**

慕容俊	338
山伟	338
刘仁之	338
宇文忠之	338

**卷八十二 列传第七十**

李瑛之	339
祖莹	339
常景	340

**卷八十三上 列传第七十一上**

<b>外戚上</b>	
贺讷	342
刘罗辰	342
姚黄眉	342
杜超	342
贺迷	342
闾毗	342
冯熙	343
李峻	344
李惠	344

**卷八十三下 列传第七十一下**

<b>外戚下</b>	
高肇	345
于劲	345
胡国珍	345
李延寔	346

**卷八十四 列传第七十二**

<b>儒林</b>	
梁越	347
卢丑	347

张伟	347
梁祚	347
平恒	347
陈奇	348
常爽	348
刘献之	348
张吾贵	349
刘兰	349
孙惠蔚	349
徐遵明	350
董征	350
刁冲	350
卢景裕	351
李同轨	351
李业兴	351

卷八十五 列传第七十三

文苑

袁跃	352
裴敬宪	353
卢观	353
封肃	353
邢臧	353
裴伯茂	353
邢昕	353
温子升	353

卷八十六 列传第七十四

孝感

赵瑛	354
长孙虑	354
乞伏保	355
孙益德	355
董洛生	355
杨引	355
阎元明	355
吴悉达	355
王续生	355
李显达	355
张升	355
仓跋	355
王崇	355
郭文恭	355

卷八十七 列传第七十五

节义

于什门	356
段进	356
石文德	356
汲固	356

王玄威	356
娄提	356
刘渴侯	356
朱长生	356
于提	356
马八龙	356
门文爱	356
晁清	356
刘侯仁	356
石祖兴	357
邵洪哲	357
王荣世	357
胡小虎	357
孙道登	357
李几	357
张安祖	357
王间	357

卷八十八 列传第七十六

良吏

张恂	357
鹿生	358
张应	358
宋世景	358
路邕	358
阎庆胤	358
明亮	358
杜纂	358
裴佗	359
窦瓌	359
羊敦	360
苏淑	360

卷八十九 列传第七十七

酷吏

于洛侯	361
胡泥	361
李洪之	361
高遵	361
张赦提	362
羊祉	362
崔暹	362
郾道元	362
谷楷	363

卷九十 列传第七十八

逸士

陆夸	363
冯亮	363
李溢	363
郑脩	365

卷九十一 列传第七十九

## 术艺

晁崇	365
张渊	366
殷绍	368
王早	369
耿玄	369
刘灵助	369
江式	370
周澹	371
李脩	371
徐睿	371
王显	371
崔瓌	372
蒋少游	372

## 卷九十二 列传第八十

## 列女

崔览妻封氏	373
封卓妻刘氏	373
魏溥妻房氏	373
胡长命妻张氏	373
平原女子孙氏	373
房爱亲妻崔氏	373
泾州贞女兕先氏	373
姚氏妇杨氏	374
张洪初妻刘氏	374
董景起妻张氏	374
阳尼妻高氏	374
史映周妻耿氏	374
任城国太妃孟氏	374
荀金龙妻刘氏	374
卢元礼妻李氏	374
河东孝女姚氏	374
刁思遵妻鲁氏	374

## 第九十三 列传第八十一

## 恩幸

王睿	375
王仲兴	376
寇猛	377
赵脩	377
茹皓	377
赵邕	378
侯刚	378
郑俨	379
徐竑	379

## 第九十四 列传第八十二

## 阉宦

宗爱	379
仇洛齐	380
段霸	380

王瑤	380
赵黑	380
孙小	381
张宗之	381
剧鹏	381
张祐	381
抱嶷	381
王遇	382
苻承祖	382
王质	382
李坚	382
秦松	382
白整	382
刘腾	382
贾粲	383
杨范	383
成轨	383
王温	383
孟鸾	384
平季	384
封津	384
刘思逸	384

## 卷九十五 列传第八十三

匈奴刘聪	385
羯胡石勒	386
铁弗刘虎	387
徒何慕容廆	389
临渭氏苻健	391
羌姚萇	393
略阳氏吕光	394

## 卷九十六 列传第八十四

僭晋司马睿	395
赧李雄	399

## 卷九十七 列传第八十五

岛夷桓玄	400
海夷冯跋	402
岛夷刘裕	402

## 卷九十八 列传第八十六

岛夷萧道成	408
岛夷萧衍	410

## 卷九十九 列传第八十七

私署凉州牧张寔	414
鲜卑乞伏国仁	415
鲜卑秃发乌孤	416
私署凉王李暠	416
卢水胡沮渠蒙逊	416

## 卷一百 列传第八十八

高句丽	418
-----	-----

百济	419
勿吉	420
失韦	420
豆莫娄	420
地豆于	420
库莫奚	420
契丹	420
乌洛侯	420

卷一百一 列传第八十九

氏	421
吐谷浑	422
宕昌羌	424
高昌	424
邓至	425
蛮	425
獠	425

卷一百二 列传第九十

西域

鄯善	427
且末	427
于阗	427
蒲山	427
悉居半	427
权于摩	427
渠莎	427
车师	427
且弥	427
焉耆	427
龟兹	428
姑默	428
温宿	428
尉头	428
乌孙	428
疏勒	428
悦般	428
者至拔	428
迷密	428
悉万斤	428
忸密	428
洛那	428
粟特	428
波斯	428
伏卢尼	429
色知显	429
伽色尼	429
薄知	429
牟知	429
阿弗太汗	429
呼似密	429

诺色波罗	429
早伽至	429
伽不单	429
者舌	429
伽倍	429
折薛莫孙	429
钳敦	429
弗敌沙	429
闾浮渴	429
大月氏	429
安息	429
大秦	429
阿钩羌	429
波路	429
小月氏	429
罽宾	429
吐呼罗	430
副货	430
南天竺	430
叠伏罗	430
拔豆	430
吠哒	430
朱居	430
渴槃随	430
钵和	430
波知	430
除弥	430
乌菟	430
乾陁	430
康国	430

卷一百三 列传第九十一

蠕蠕	431
匈奴宇文莫槐	434
徒何段就六眷	434
高车	435

卷一百四 列传第九十二

自序	436
卷一百五之一 志第一	
天象志一	438
卷一百五之二 志第二	
天象志二	440
卷一百五之三 志第三	
天象志三	447
卷一百五之四 志第四	
天象志四	455
卷一百六上 志第五	
地形志上	461
卷一百六中 志第六	

地形志中.....	470	乐志.....	519
卷一百六下 志第七		卷一百一十 志第十五	
地形志下.....	483	食货志.....	523
卷一百七上 志第八		卷一百一十一 志第十六	
律历志上.....	489	刑罚志.....	527
卷一百七下 志第九		卷一百一十二上 志第十七	
律历志下.....	495	灵征志上.....	531
卷一百八之一 志第十		卷一百一十二下 志第十八	
礼志一.....	501	灵征志下.....	537
卷一百八之二 志第十一		卷一百一十三 志第十九	
礼志二.....	506	官氏志.....	544
卷一百八之三 志第十二		卷一百一十四 志第二十	
礼志三.....	509	释老志.....	551
卷一百八之四 志第十三		附录.....	558
礼志四.....	513	前上十志启.....	558
卷一百九 志第十四		旧本魏书目录叙.....	559

## 卷一

## 帝纪第一

## 序 纪

昔黄帝有子二十五人，或内列诸华，或外分荒服。昌意少子，受封北土，国有大鲜卑山，因以为号。其后，世为君长，统幽都之北，广漠之野。畜牧迁徙，射猎为业，淳朴为俗，简易为化，不为文字，刻木纪契而已。世事远近，人相传授，如史官之纪录焉。黄帝以土德王，北俗谓土为托，谓后为跋，故以为氏。其裔始均，入仕尧世，逐女魃于弱水之北，民赖其勤，帝舜嘉之，命为田祖。爰历三代，以及秦汉，黠鸷、猥狁、山戎、匈奴之属，累代残暴，作害中州，而始均之裔，不交南夏，是以载籍无闻焉。积六十七世，至成皇帝讳毛立，聪明武略，远近所推，统国三十六，大姓九十九，威振北方，莫不率服。崩。

节皇帝讳贷立，崩。

庄皇帝讳观立，崩。

明皇帝讳楼立，崩。

安皇帝讳越立，崩。

宣皇帝讳推寅立。南迁大泽，方千余里，厥土昏冥沮洳。谋更南徙，未行而崩。

景皇帝讳利立，崩。

元皇帝讳俟立，崩。

和皇帝讳肆立，崩。

定皇帝讳机立，崩。

僖皇帝讳盖立，崩。

威皇帝讳佗立，崩。

献皇帝讳邻立。时有神人言于国曰：“此土荒遐，未足以建都邑，宜复徙居。”帝时年衰老，乃以位授子。

圣武皇帝讳诃汾。献帝命南移，山谷高深，九难八阻，于是欲止。有神兽，其形似马，其声类牛，先行导引，历年乃出。始居匈奴之故地。其迁徙策略，多出宣、献二帝，故人并号曰“推寅”，盖俗云“钻研”之义。初，圣武帝尝率数万骑田于山泽，欻见辘辘自天而下。既至，见美妇人，侍卫甚盛。帝异而问之，对曰：“我天女也，受命相偶。”遂同寝宿。旦，请还，曰：“明年周时，复会此处。”言终而别，去如风雨。及期，帝至先所田处，果复相见。天女以所生男授帝曰：“此君之子也，善养视之。子孙相承，当世为帝王。”语讫而去。子即始祖也。故时人谚曰：“诃汾皇帝无妇家，力微皇帝无舅家。”帝崩。

始祖神元皇帝讳力微立。生而英睿。

元年，岁在庚子。先是，西部内侵，国民离散，依于没鹿回部大人寔寔。始祖有雄杰之度，时人莫测。后与寔寔攻西部，军败，失马步走。始祖使人以所乘骏马给之。寔寔归，令其部内求与马之人，当加重赏，始祖隐而不言。久之，寔寔乃知，大惊，将分国之半以奉始祖。始祖不受，乃

进其爱女。寔寔思报恩，固问所欲。始祖请率所部北居长川，寔寔乃敬从。积十数岁，德化大洽，诸旧部民，咸来归附。

二十九年，寔寔临终，戒其二子，使谨奉始祖。其子不从，乃阴谋为逆。始祖召杀之，尽并其众，诸部大人，悉皆款服，控弦上马二十余万。

三十九年，迁于定襄之盛乐。夏四月，祭天，诸部君长皆来助祭，唯白部大人观望不至，于是征而戮之，远近肃然，莫不震慑。始祖乃告诸大人曰：“我历观前世匈奴、蹋顿之徒，苟贪财利，抄掠边民，虽有所得，而其死伤不足相补，更招寇讎，百姓涂炭，非长计也。”于是与魏和亲。四十二年，遣子文帝如魏，且观风土。魏景元二年也。

文皇帝讳沙漠汗，以国太子留洛阳，为魏宾之冠。聘问交市，往来不绝。魏人奉遗金帛缯絮，岁以万计。始祖与邻国交接，笃信推诚，不为倚伏以要一时之利，宽恕任真，而遐迩归仰。魏晋禅代，和好仍密。始祖春秋已迈，帝以父老求归，晋武帝具礼护送。

四十八年，帝至自晋。

五十六年，帝复如晋；其年冬，还国。晋遣帝锦、罽、纁、彩、绵、绢诸物，咸出丰厚，车牛百乘。行达并州，晋征北将军卫瓘，以帝为人雄异，恐为后患，乃密启晋帝，请留不遣。晋帝难于失信，不许。瓘复请以金锦赂国之大将，令致间隙，使相危害。晋帝从之，遂留帝。于是国之执事及外部大人，皆受瓿货。

五十八年，方遣帝。始祖闻帝归，大悦，使诸部大人诣阴馆迎之。酒酣，帝仰视飞鸟，谓诸大人曰：“我为汝曹取之。”援弹飞丸，应弦而落。时国俗无弹，众咸大惊，乃相谓曰：“太子风采被服，同于南夏，兼奇术绝世，若继国统，变易旧俗，吾等必不得志，不若在国家诸子，习本淳朴。”咸以为然。且离间素行，乃谋危害，并先驰还。始祖问曰：“我子既历他国，进德何如？”皆对曰：“太子才艺非常，引空弓而落飞鸟，是似得晋人异法怪术，乱国害民之兆，惟愿察之。”自帝在晋之后，诸子受宠日进，始祖年逾期颐，颇有所惑，闻诸大人之语，意乃有疑。因曰：“不可容者，便当除之。”于是诸大人乃驰诣塞南，矫害帝。既而，始祖甚悔之。帝身长八尺，英姿瑰伟，在晋之日，朝士英俊多与亲善，雅为人物归仰。后乃追谥焉。

其年，始祖不豫。乌丸王庠贤，亲近任势，先受卫瓘之货，故欲沮动诸部，因在庭中砺钺斧。诸大人问欲何为，答曰：“上恨汝曹谗杀太子，今欲尽收诸大人长子杀之。”大人皆信，各各散走。始祖寻崩。凡纁国五十八年，年一百四岁。太祖即位，尊为始祖。

章皇帝讳悉鹿立，始祖之子也。诸部离叛，国内纷扰。纁国九年而崩。

平皇帝讳肆立，章帝之少弟也。雄武有智略，威德复举。七年，匈奴宇文部大人莫槐为其下所杀，更立莫槐弟普拔为大人。帝以女妻普拔子丘不勤。帝纁国七年而崩。

思皇帝讳弗立，文帝之少子也。聪哲有大度，为诸父兄所重。政崇宽简，百姓怀服。纁国一年而崩。

昭皇帝讳祿官立，始祖之子也。分国为三部：帝自以

一部居东，在上谷北，濡源之西，东接宇文部；以文帝之长子桓皇帝讳猗闾统一部，居代郡之参合陂北；以桓帝之弟穆皇帝讳猗卢统一部，居定襄之盛乐故城。自始祖以来，与晋和好，百姓义安，财富富实，控弦骑士四十余万。是岁，穆帝始出并州，迁杂胡北徙云中、五原、朔方。又西渡河击匈奴、乌桓诸部。自杏城以北八十里，迄长城原，夹道立碣，与晋分界。

二年，葬文帝及皇后封氏。初，思帝欲改葬，未果而崩。至是，遂成前意焉。晋成都王司马颖遣从事中郎田思，河间王司马颢遣司马靳利，并州刺史司马腾遣主簿梁天，并来会葬。远近赴者二十万人。

三年，桓帝度漠北巡，因西略诸国。

四年，东部未耐娄大人倍斤入居辽东。

五年，宇文莫虓之子逊昵延朝贡。帝嘉其诚款，以长女妻焉。

七年，桓帝自西略，诸降附者二十余国，凡积五岁，今始东还。

十年，晋惠帝为成都王颖逼留在邺。匈奴别种刘渊反于离石，自号汉王。并州刺史司马腾来乞师。桓帝率十余万骑，帝亦同时大举以助之，大破渊众于西河、上党。会惠帝还洛，腾乃辞师。桓帝与腾盟于汾东而还。乃使辅相卫雄、段繁，于参合陂西累石为亭，树碑以记行焉。

十一年，刘渊攻司马腾，腾复乞师。桓帝以轻骑数千救之，斩渊将妻母豚。渊南走蒲子。晋假桓帝大单于，金印紫绶。

是岁，桓帝崩。帝英杰魁岸，马不能胜。常乘安车，驾大牛，牛角容一石。帝曾中蛊，呕吐之地仍生榆木。参合陂土无榆树，故世人异之，至今传记。帝统部凡十一年。后定襄侯卫操，树碑于大邗城，以颂功德。子普根代立。

十二年，賈人李雄僭帝号于蜀，自称大成。

十三年，昭帝崩。徙何大单于慕容廆遣使朝贡。是岁，羯胡石勒与晋马牧帅汲桑反。

穆皇帝天姿英特，勇略过人，昭帝崩后，遂总摄三部，以为一统。

元年，刘渊僭帝号，自称大汉。

三年，晋并州刺史刘琨遣使，以子遵为质。帝嘉其意，厚报犒之。白部大人叛入西河，铁弗刘虎举众于雁门以应之，攻琨新兴、雁门二郡。琨来乞师，帝使弟子平文皇帝将骑二万，助琨击之，大破白部；次攻刘虎，屠其营落。虎收其余烬，西走度河，窟居朔方。晋怀帝进帝大单于，封代公。帝以封邑去国悬远，民不相接，乃从琨求句注、陜北之地。琨自以托附，闻之大喜，乃徙马邑、阴馆、楼烦、繁峙、崞五县之民于陜南，更立城邑，尽献其地，东接代郡，西连西河、朔方，方数百里。帝乃徙十万家以充之。刘琨又遣使乞师救洛阳，帝遣步骑二万助之。晋太傅东海王司马越辞以洛中饥馑，师乃还。是年，刘渊死，子聪僭立。

四年，刘琨牙门将邢延据新兴叛，招引刘聪。帝遣军讨之，聪退走。

五年，刘琨遣使乞师以讨刘聪、石勒。帝以琨忠义，

矜而许之。会聪遣其子粲袭晋阳，害琨父母而据其城，琨来告难，帝大怒，遣长子六脩、桓帝子普根，及卫雄、范班、姬澹等为前锋，帝躬统大众二十万为后继。粲惧，焚辎重，突围遁走。纵骑追之，斩其将刘儒、刘丰、简令、张平、邢延，伏尸数百里。琨来拜谢，帝以礼待之。琨固请进军，帝曰：“吾不早来，致卿父母见害，诚以相愧。今卿已复州境，然吾远来，士马疲弊，且待终举。贼奚可尽乎？”犒琨马牛羊各千余，车令百乘，又留劲锐戍之而还。是年，晋雍州刺史贾疋、京兆太守阎鼎，以晋怀帝为刘聪所执，共立怀帝兄子秦王业为太子，于长安称行台。帝复戒严，与琨更克大举。命琨自列晋行台，部分诸军，帝将遣十万骑从西河釜谷南出，晋军从蒲坂东度，会于平阳，就食聪粟，迎复晋帝。事不果行。

六年，城盛乐以为北都，修故平城以为南都。帝登平城西山，观望地势，乃更南百里，于淦水之阳黄瓜堆筑新平城，晋人谓之小平城，使长子六脩镇之，统领南部。

七年，帝复与刘琨约期，会于平阳。会石勒擒王浚，国有匈奴杂胡万余家，多勒种类，闻勒破幽州，乃谋为乱，欲以应勒，发觉，伏诛。讨聪之计，于是中止。

八年，晋愍帝进帝为代王，置官属，食代、常山二郡。帝忿聪、勒之乱，志欲平之。先是，国俗宽简，民未知禁。至是，明刑峻法，诸部民多以违命得罪。凡后期者皆举部戮之。或有室家相携而赴死所，人问：“何之？”答曰：“当往就诛。”其威严伏物，皆此类也。

九年，帝召六修，六修不至。帝怒，讨之，失利，乃微服民间，遂崩。普根先守外境，闻难来赴，攻六修，灭之。卫雄、姬澹率晋人及乌丸三百余家，随刘遵南奔并州。普根立月余而薨。普根子始生，桓帝后立之。其冬，普根子又薨。是年，李雄遣使朝贡。

平文皇帝讳郁律立，思帝之子也。姿质雄壮，甚有威略。

元年，岁在丁丑。

二年，刘虎据朔方，来侵西部。帝逆击，大破之。虎单骑逃走。其从弟路孤率部落内附，帝以女妻之。西兼乌孙故地，东吞勿吉以西，控弦上马将有百万。刘聪死，子粲僭立，为其将靳准所杀。渊族子曜僭立。帝闻晋愍帝为曜所害，顾谓大臣曰：“今中原无主，天其资我乎？”刘曜遣使请和，帝不纳。是年，司马睿僭称大位于江南。

三年，石勒自称赵王，遣使乞和，请为兄弟。帝斩其使以绝之。

四年，私署凉州刺史张茂遣使朝贡。

五年，僭晋司马睿遣使韩畅加崇爵服，帝绝之。治兵讲武，有平南夏之意。桓帝后以帝得众心，恐不利于己子，害帝，遂崩，大人死者数十人。天兴初，尊曰太祖。

惠皇帝讳贺傉立，桓帝之中子也。以五年为元年。未亲政事，太后临朝，遣使与石勒通和，时人谓之女国使。二年，司马睿死，子绍僭立。

四年，帝始临朝。以诸部人情未悉款顺，乃筑城于东木根山，徙都之。是年，张茂死，兄寔子骏立，遣使朝贡。

五年，帝崩。是年，司马绍死，子衍僭立。

杨皇帝讳诤那立，惠帝之弟也。以五年为元年。

三年，石勒遣石虎率骑五千人寇边部，帝御之于句注陁北，不利，迁于大宁。时烈帝居于舅贺兰部。帝遣使求之，贺兰部帅蒿头，拥护不遣。帝怒，召宇文部并势击蒿头。宇文众败，帝还大宁。

四年，石勒擒刘曜。

五年，帝出居于宇文部。贺兰及诸部大人，共立烈帝。烈皇帝讳翳槐立，平文之长子也。以五年为元年。石勒遣使求和，帝遣弟昭成皇帝如襄国，从者五千余家。

二年，石勒僭立，自称大赵王。

五年，勒死，子大雅僭立。慕容廆死，子元真代立。

六年，石虎废大雅，僭立。李雄死，兄子班立。雄子期，杀班自立。

七年，蒿头不修臣职，召而戮之，国人复贰。杨帝自宇文部还入，诸部大人复奉之。

杨皇帝复立，以七年为后元年。烈帝出居于鄯，石虎奉第宅、伎妾、奴婢、什物。

三年，石虎遣将李穆率骑五千纳烈帝于大宁。国人六千余落叛杨帝，杨帝出居于慕容部。

烈皇帝复立，以三年为后元年。城新盛乐城，在故城东南十里。一年而崩。

昭成皇帝讳什翼犍立，平文之次子也。生而奇伟，宽仁大度，喜怒不形于色。身長八尺，隆准龙颜，立发委地，卧则乳垂至席。烈帝临崩顾命曰：“必迎立什翼犍，社稷可安。”烈帝崩，帝弟孤乃自诣鄯奉迎，与帝俱还。事在《孤传》。十一月，帝即位于繁峙之北，时年十九，称建国元年。是岁，李雄从弟寿杀期僭立，自号曰汉。

二年春，始置百官，分掌众职。东自涉貂，西及破洛那，莫不款附。夏五月，朝诸大人于参合陂，议欲定都涇源川，连日不决，乃从太后计而止。语在《皇后传》。媵慕容元真妹为皇后。

三年春，移都于云中之盛乐宫。

四年秋九月，筑盛乐城于故城南八里。皇后慕容氏崩。冬十月，刘虎寇西境。帝遣军逆讨，大破之，虎仅以身免。虎死，子务桓立，始来归顺，帝以女妻之。十二月，慕容元真遣使朝贡，并荐其宗女。

五年夏五月，幸参合陂。秋七月七日，诸部毕集，设坛埒，讲武驰射，因以为常。八月，还云中。是年秋，司马衍死，弟岳僭立。

六年秋八月，慕容元真遣使请荐女。是年，李寿死，子势僭立，遣使朝贡。

七年春二月，遣大人长孙秩迎后慕容氏元真之女于境。夏六月，皇后至自和龙。秋七月，慕容元真遣使奉聘，求交婚。帝许之。九月，以烈帝女妻之。其年，司马岳死，子聃僭立。

八年，慕容元真遣使朝贡。是年，张骏私署假凉王。

九年，石虎遣使朝贡。是年，张骏死，子重华代立。

十年，遣使诣鄯观衅。是年，司马聃擒李势。张重华遣使朝贡。

十一年，慕容元真死，子俊代立。

十二年，西巡，至河而还。是年，石虎死，子世立。世兄遵，杀世自立。尊兄鉴，杀遵自立。

十三年，魏郡人冉闵，杀石鉴僭立。

十四年，帝曰：“石胡衰灭，冉闵肆祸，中州纷梗，莫有匡救，吾将亲率六军，廓定四海。”乃敕诸部，各率所统，以俟大期。诸大人谏曰：“今中州大乱，诚宜进取，如闻豪强并起，不可一举而定，若或留连，经历岁稔，恐无永逸之利，或有亏损之忧。”帝乃止。是岁，苻健僭称大位，自号大秦。

十五年，慕容俊灭冉闵，僭尊号。

十六年，慕容俊遣使朝贡。是年，张重华死，子曜灵立。重华庶兄祚杀曜灵而自立，称凉公。

十七年，遣使于慕容俊。张祚复称凉王，置百官，遣使朝贡。

十八年，太后王氏崩。是年，苻健死，子生僭立。羌姚襄自称大将军、大单于。张瓘、宋混杀张祚，立重华少子玄靖，称凉王。

十九年春正月，刘务桓死，其弟闾头立，潜谋反叛。二月，帝西巡，因而临河，使人招喻，闾头从命。冬，慕容俊来请婚，许之。

二十年夏五月，慕容俊奉纳礼币。是年，苻坚杀苻生而僭立。姚襄为苻眉所杀。

二十一年，闾头部民多叛，惧而东走。渡河，半济而冰陷，后众尽归闾头兄子悉勿祈。初，闾头之叛，悉勿祈兄弟十二人在帝左右，尽遣归，欲其自相猜离。至是，悉勿祈夺其众。闾头穷而归命，帝待之如初。

二十二年春，帝东巡，至于桑乾川。三月，慕容俊遣使朝贡。夏四月，帝还云中。悉勿祈死，弟卫辰立。秋八月，卫辰遣子朝贡。

二十三年夏六月，皇后慕容氏崩。秋七月，卫辰来会葬，因而求婚，许之。是岁，慕容俊死，子聃立，遣使致聘。

二十四年春，卫辰遣使朝聘。是年，司马聃死，衍子千龄僭立。

二十五年，帝南巡，至君子津。冬十月，行幸代。十一月，慕容聃荐女备后宫。

二十六年冬十月，帝讨高车，大破之，获万口，马牛羊百余万头。是年，张重华弟天锡杀玄靖而自立。

二十七年春，车驾还云中。冬十一月，讨没歌部，破之，获牛马羊数百万头。

二十八年春正月，卫辰谋反，东渡河。帝讨之，卫辰惧而遁走。冬十二月，苻坚遣使朝贡。是岁，司马千龄死，弟奔僭立。

二十九年夏五月，遣燕风使苻坚。

三十年冬十月，帝征卫辰。时河冰未成，帝乃以苇统约斲，俄然冰合，犹未能坚，乃散苇于上，冰草相结，如浮桥焉。众军利涉，出其不意，卫辰与宗族西走，收其部落而还，俘获生口及马牛羊数十万头。

三十一年春，帝至自西伐，班赏各有差。

三十二年正月，帝南幸君子津。冬十月，幸代。

三十三年冬十一月，征高车，大破之。是年，苻坚擒慕容暉。

三十四年春，长孙斤谋反，伏诛。斤之反也，拔刃向御座，太子献明皇帝讳寔格之，伤胁。夏五月，薨，后追谥焉。秋七月，皇孙珪生，大赦。是年，司马奔臣桓温，废奔为海西公，立睿子昱。

三十五年，司马昱死，子昌明僭立。

三十六年夏五月，遣燕凤使苻坚。

三十七年，帝征卫辰，卫辰南走。

三十八年，卫辰求援于苻坚。

三十九年，苻坚遣其大司马苻洛率众二十万及朱彤、张蚝、邓羌等诸道来寇，侵逼南境。冬十一月，白部、独孤部御之，败绩。南部大人刘库仁走云中。帝复遣库仁率骑十万逆战于石子岭，王师不利。帝时不豫，群臣莫可任者，乃率国人避于阴山之北。高车杂种尽叛，四面寇抄，不得刍牧。复度漠南。坚军稍退，乃还。十二月，至云中，旬有二日，帝崩，时年五十七。太祖即位，尊曰高祖。

帝雅性宽厚，智勇仁恕。时国中少缙帛，代人许谦盗绢二匹。守者以告，帝匿之，谓燕凤曰：“吾不忍视谦之面，卿勿泄言。谦或惭而自杀，为财辱士，非也。”帝尝击西部叛贼，流矢中目。贼破之后，诸大臣执射者，各持锥刀欲屠割之。帝曰：“彼各为其主，何罪也。”乃释之。

是岁，苻坚灭张天锡。

史臣曰：帝王之兴也，必有积德累功博利，道协幽显，方契神祇之心。有魏奄迹幽方，世居君长，淳化育民，与时无竞。神元生自天女，桓、穆勤于晋室。灵心人事，夫岂徒然？昭成以雄杰之姿，包君子之量，征伐四克，威被荒遐，乃立号改都，恢隆大业。终于百六十载，光宅区中。其原因有由矣。

## 卷二

## 帝纪第二

### 太祖纪

太祖道武皇帝，讳珪，昭成皇帝之嫡孙，献明皇帝之子也。母曰献明贺皇后。初因迁徙，游于云泽，既而寤息，梦日出室内，寤而见光自牖属天，欻然有感。以建国三十四年七月七日，生太祖于参合陂北，其夜复有光明。昭成大悦，群臣称庆，大赦，告于祖宗。保者以帝体重倍于常儿，窃独奇怪。明年有榆生于埋胞之坎，后遂成林。弱而能言，目有光曜，广颡大耳，众咸异之。年六岁，昭成崩。苻坚遣将内侮，将迁帝于长安，既而获免。语在《燕凤传》。坚军既还，国众离散。坚使刘库仁、刘卫辰分摄国事。南部大人长孙嵩及元他等，尽将故民南依库仁，帝于是转幸独孤部。

元年，葬昭成皇帝于金陵，营梓宫，木柿尽生成林。

帝虽冲幼，而巍然不群。库仁常谓其子曰：帝有高天下之志，兴复洪业，光扬祖宗者，必此主也。

七年，冬十月，苻坚败于淮南。是月，慕容文等杀库仁，库会弟眷摄国部。

八年，慕容暉弟冲僭立。姚萇自称大单于、万年秦王。慕容垂僭称燕王。

九年，库仁子显杀眷而代之，乃将谋逆。商人王霸知之，履帝足于众中，帝乃驰还。是时故大人梁盖盆子六眷，为显谋主，尽知其计，密使部人穆崇驰告。帝乃阴结旧臣长孙健、元他等。秋八月，乃幸贺兰部。其日，显果使人求帝，不及。语在《献明太后传》。是岁，鲜卑乞伏国仁私署大单于。苻坚为姚萇所杀，子丕僭立。

登国元年春正月戊申，帝即代王位，郊天，建元，大会于牛川。复以长孙嵩为南部大人，以叔孙普洛为北部大人。班爵叙勋，各有差。二月，幸定襄之盛乐。息众课农。三月，刘显自善无南走马邑，其族奴真率所部来降。夏四月，改称魏王。五月，车驾东幸陵石。护佛侯部帅侯辰、乙弗部帅代题叛走。诸将追之，帝曰：“侯辰等世修职役，虽有小愆，宜且忍之。当今草创，人情未一，愚近者固应越越，不足追也。”秋七月己酉，车驾还盛乐。代题复以部落来降，旬有数日，亡奔刘显。帝使其孙倍斤代领部落。是月，刘显弟肺泥率骑掠奴真部落，既而率以来降。初，帝叔父窟咄为苻坚徙于长安，因随慕容永，永以为新兴太守。八月，刘显遣弟亢泥迎窟咄，以兵随之，来逼南境。于是诸部骚动，人心顾望。帝左右于桓等，与诸部人谋为逆以应之。事泄，诛造谋者五人，余悉不问。帝虑内难，乃北逾阴山，幸贺兰部，阻山为固。遣行人安同、长孙贺使于慕容垂以征师。垂遣使朝贡，并令其子贺麟帅步骑以随同等。冬十月，贺麟军未至而寇已前逼，于是北部大人叔孙普洛等十三人及诸乌丸亡奔卫辰。帝自弩山迁幸牛川，屯于延水南，出代谷，会贺麟于高柳，大破窟咄。窟咄奔卫辰，卫辰杀之，帝悉收其众。十二月，慕容垂遣使朝贡，奉帝西单于印绶，封上谷王。帝不纳。是岁，慕容垂僭称皇帝于中山，自号大燕。苻丕死，苻登自立于陇东。姚萇称皇帝于长安，自号大秦。慕容冲为部下所杀。慕容永僭立。

二年春正月，班赐功臣长孙嵩等七十三人各有差。二月，帝幸宁川。夏五月，遣行人安同征兵于慕容垂，垂使子贺麟率众来会。六月，帝亲征刘显于马邑南，追至弥泽，大破之，显南奔慕容永，尽收其部落。秋八月，帝至自伐显。冬十月癸卯，幸濡源，遣外朝大人王建使于慕容垂。十一月，遂幸赤城。十有二月，巡松漠。还幸牛川。

三年春二月，帝东巡。夏四月，幸东赤城。五月癸亥，北征库莫奚。六月，大破之，获其四部杂畜十余万，渡弱落水。班赏将士各有差。秋七月庚申，库莫部帅鸿集遣散，夜犯行宫。纵骑扑讨，尽杀之。其月，帝还赤城。八月使九原公元仪使于慕容垂。冬十一月，慕容垂遣使朝贡。十有二月辛卯，车驾西征。至女水，讨解如部。大破之，获男女杂畜十数万。是岁，乞伏国仁死，弟乾归立，私署河南王。